

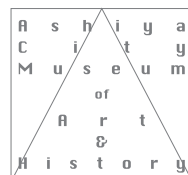


Pendule de Foucault

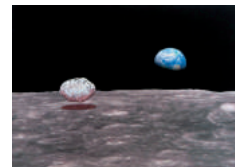
植松奎二
みえないものへ、触れる方法～直観

Keiji Uematsu Ways of Touching the Invisible - Intuition Ashiya City Museum of Art and History 2021年3月13日(土)―5月9日(日) 芦屋市立美術博物館

開館時間＝10:00－17:00(入館は16:30まで)／休館日＝月曜日(ただし5月3日は開館、5月6日は休館)／観覧料＝一般700(560)円、大高生500(400)円、中学生以下無料 ※同時開催「芦屋の歴史と文化財」展の観覧料も含む ※()内は20名以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者の方は各当日料金の半額になります ※観覧無料の日＝3月21日(日)／主催＝芦屋市立美術博物館／後援＝兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、Kiss FM KOBE／協力＝Gallery Nomart, Yumiko Chiba Associates ●同時開催＝「芦屋の歴史と文化財」芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25 TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp



Special Exhibition Keiji Uematsu Ways of Touching the Invisible - Intuition



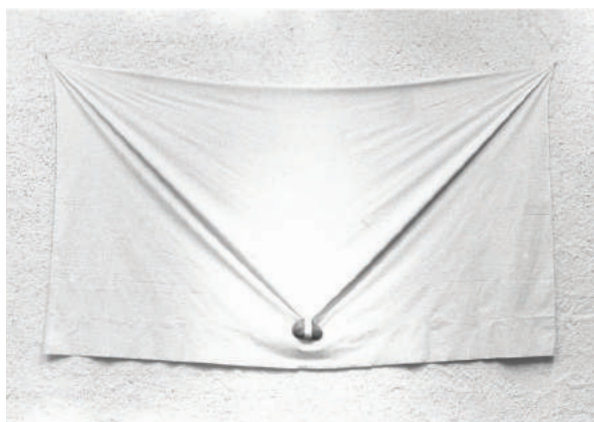
特別展 植松 奎二

みえないものへ、触れる方法——直観

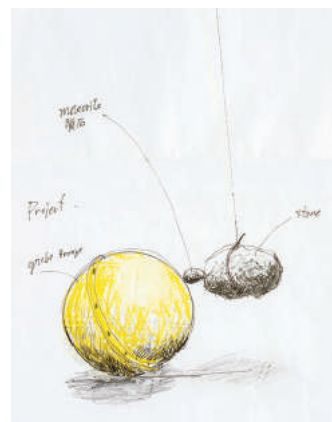
植松奎二(1947-)は、作品を発表しはじめた1969年より現在にいたるまで、彫刻、インスタレーション、写真、映像、パフォーマンスなど、多岐にわたる活動により、一貫して重力、引力といった見えない力の法則から世界の構造・存在・関係をよりあらわにしてきました。自身の身体を用いた空間の存在把握や、人と物体との関係性など、世界を知覚させる作品を数多く発表しています。

いつの時代も知覚を超えてある、みえないものの、隠れている事象へと思考を巡らすことは、自らの力によって道を切り開く方法を見つけることになると思います。

本展では、植松の作品と直観で対話し思考を深め、この世界を新たに認識する方法を探っていきます。



2



3

すべては仮説ではじまった。



4



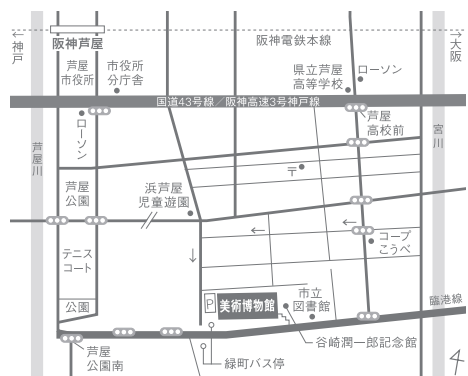
5

以前から、人間と美術と科学との出会い
対話が気になっています
僕は美術を通じて、世界を知り、世界を表現し
世界を創っています
科学、数学に美学的考察のひとつのかたちを
みれると思うのです
そこには美術と同じように
直観と想像力がある
それらは「すべては仮説ではじまった」
と思うのです

植松奎二「見えない言葉に触れる」
2020年5月18日

【アクセス】

徒歩＝阪神電車芦屋駅から南東へ約15分
阪急バス＝阪神電車芦屋駅南側②番のりば・JR神戸線芦屋駅北側⑤番のりば・阪急電鉄芦屋川駅南側⑤番のりばより、「新浜町」または「芦屋市総合公園前」行き(31・32・35・36・131系統)乗車、「緑町(美術博物館前)」下車、徒歩2分
併設駐車場＝当館をご利用の方は1時間無料。館内受付で駐車券をご提示ください。30分100円(8:00-20:00)



〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp

◎芦屋市制施行80周年記念

芦屋市立美術博物館
Ashiya City Museum of Art & History

1《浮く石 ― 地球の出》2019 Courtesy of Gallery Nomart / 2《Triangle-Stone/Cloth》1979 Courtesy of Simon Lee Gallery & Yumiko Chiba Associates 参考作品 / 3《摩擦のあいだ ― 宇宙からの贈りもの》2021 / 4《見えない力 ― 軸・経度・緯度》2021 / 5《間 ― 5つの石II》1975 Courtesy of Gallery Nomart

【関連イベント】

●アーティストトーク

「みえないものへ、触れる旅」

3月20日(土・祝) 14:00-16:00(予定)

講師＝植松奎二 会場＝展示室 ほか

参加費＝無料(ただし要観覧券)

定員＝50名(予定) ※申込不要

●おとなのためのワークショップ

「言葉とものと行為に触れる楽しいワークショップ」

3月28日(日) 14:00-16:00(予定)

講師＝植松奎二 会場＝体験学習室 ほか

対象＝高校生以上のどなたでも

参加費＝無料(ただし要観覧券) 定員＝20名

※要事前申込/3月14日(日)締切/応募者多数の場合は抽選

●対談

「かつて現代美術があった―みえない言葉ともの」

植松奎二/光田由里(美術評論家)

4月11日(日) 14:00-16:00(予定)

会場＝講義室 参加費＝無料(ただし要観覧券)

定員＝50名(予定) ※申込不要

●ツアー

植松さんと一緒に野外彫刻ピクニック+展覧会鑑賞

4月25日(日) 13:00-17:00(予定)

場所＝神戸市中央区、西宮市の野外彫刻ほか、

芦屋市立美術博物館

対象＝どなたでも

参加費＝100円(保険代等)

※観覧券ならびに移動に係る交通費は別途ご用意ください

定員＝30名

※要事前申込/4月11日(日)締切/応募者多数の場合は抽選

●上映会

3月13日(土)、27日(土)、4月10日(土)、24日(土)、5月8日(土)

*映像作品14点をループ上映

会場＝講義室 参加費＝無料(ただし要観覧券)

定員＝50名(予定) ※申込不要

◎申込方法

ワークショップ、ツアーは要事前申込

芦屋市立美術博物館へお電話(TEL 0797-38-5432)かEメール

(ashiya-bihaku@shopro.co.jp)にて、イベント名・氏名・住所、

連絡先をお伝えください。応募者多数の場合は抽選

*詳しくは当館HPをご覧ください ashiya-museum.jp

※ご来館時に、当館ホームページ掲載の「新型コロナウイルス感染症対策(芦屋市立美術博物館ガイドライン)」をご確認ください